

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①基礎基本を踏まえて発展的に学ぶことができる教科指導を充実させ、「学び直しとしての学力」「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」を定着させる。</p> <p>②「学びの場」としての定時制総合学科の意義を自覚させ、一人ひとりの生徒が主体的に参加する授業を展開する。</p>	<p>①単位制総合学科のシステムを活かし、多様な生徒のニーズに対応できるよう、教育課程を実施していく。</p> <p>②学習習慣を定着させ、生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを推進するため、組織的な授業改善の取り組みを行っていく。</p>	<p>①多様な生徒のニーズに応じた、きめ細かい学習指導を行うために、他のグループやプロジェクトチームと連携しながら、生徒の学習環境の整備に取り組む。</p> <p>②校内でテーマを決め、授業改善週間を設けて取り組む。あわせて、研究授業を行う。また、1年次の学びなおしの授業(プログレス科目)を生徒に周知し、基礎学力の定着を図る。</p>	<p>①他のグループやプロジェクトチームと連携することで、生徒の学習環境を向上させることができたか。</p> <p>②組織的な授業改善の取り組みを深め、学校全体でその成果を共有することができたか。また、1年次のプログレス科目の履修者に対して、単位修得者が80%以上になったか。</p>					
2 生徒指導 ・支援	<p>①一人ひとりの生徒理解を基本とし、生徒指導や教育相談体制を充実させ、より安心して学べる場となる学校をつくる。</p> <p>②教育活動全般に道徳教育を推進し、道徳的心情と道徳的判断力を育む。</p>	<p>①日常の観察や声かけを通して、生徒が安心して活動できる環境を整える。生徒の健康観察を行い、感染症予防対策を継続する。</p> <p>②生徒の基本的な生活習慣を確立させるとともに、規範意識の醸成に努める。交通安全教育等を推進し、命の大切さを自覚させる。教育相談体制を機能させ、生徒個々の状況に対応したアプローチと支援を行う。</p>	<p>①校内巡回や年次間からの情報を共有し、生徒一人ひとりへの指導・支援に活用する。健康チェックシートの活用と毎日登校時の検温を行う。</p> <p>②生徒心得の周知と巡回指導や授業時間の遵守等において規範意識を醸成する。交通事故ゼロ運動や交通安全教室の実施により交通安全教育を推進する。毎月の年次会とケース会議から教育相談コーディネーター・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや、外部機関と連携し学校生活を支援する。</p>	<p>①校内巡回等のデータ、健康チェックや保健室利用のデータ分析を行い、生徒一人ひとりへの指導・支援に活用できたか。健康チェックを継続し生徒の健康増進に関する意識を高めることができたか。</p> <p>②校内巡回や指導等により生徒の規範意識を醸成できたか。交通事故ゼロ運動や交通安全教室の実施により交通安全教育を推進することができたか。年次会とケース会議の開催状況や外部機関との連携状況は良好であったか。</p>					

3	進路指導 ・支援	キャリア教育の一環として、道徳教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。	生徒一人ひとりのキャリア教育の充実を図り、それぞれが希望する進路の実現を支援する。引き続き、進路未決定者(進学・就職準備は除く)の数を減らす。	進学希望者が増加傾向にあることから、進学指導の充実を図っていく。入試方法の多様化から、入試方法について進学希望者一人ひとりにきめ細かな進学指導を行っていく。就職希望者一人ひとりのニーズに応じた就職支援として、ハローワークなどとの連携を図る。	進路ガイダンスや講話等を通して、進学指導の充実を図ることができたか。就職希望者一人ひとりのニーズに応じた就職支援として、ハローワークなどとの連携を図ることができたか。					
4	地域等との協働	周辺自治会および関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力を向上させる。	周辺自治会および関連行政機関との連携を強化し、開かれた学校づくりをさらに推進する。	周辺自治会や夜間中等等と連携し、地域貢献できる人材を育成する。また、学校広報活動の推進を図り、学校ホームページ等を充実させる。	周辺自治会や夜間中等との連携を図り、学校行事や地域貢献活動および、その他の活動を実施できたか。また、学校広報活動の推進のためホームページを更新できたか。					
5	学校管理 学校運営	①学校防災力を向上させ、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 ②不祥事防止を徹底し、教職員の不祥事防止に取り組む姿勢を一層向上させる。 ③教員のライフワークバランスを推進するため教員の働き方改革を推進する。	①いのちを守るための学校づくりを推進する。 ②事故・不祥事をゼロとする。 ③会議に係る時間を削減し、教員の働き方改革を推進する。	①いのちを守るために生徒及び地域の実態に合わせた効果的な学校防災を研究する。 ②事故・不祥事防止会議等、あらゆる機会を捉え、教職員間で情報共有し、事故・不祥事ゼロを実現する。 ③会議スケジュールのスリム化及びペーパーレス化を図り、会議の準備や会議資料の整理等の時間を削減する。	①今後、3年間を見通した計画的な学校防災を研究することができたか。 ②事故・不祥事がゼロであったか。 ③企画会議および職員会議等の各種会議のペーパーレス化の推進ができたか。					